



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 2909回 第12例会
2016年 9月23日
毎週金曜日

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

2016-2017年度 R I 会長
ジョン F. ジャーム

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2016-2017年度 人吉ロータリークラブテーマ

復古創新 - 60周年を祝い、地域に奉仕しよう

本日の進行 (目次)

- P1~2 会長の時間
P2~3 幹事報告、出席率報告
PHF 認証品の贈呈 北会員
2017-18地区委員委嘱状 中川会員
P2~4 R友月間 9月号紹介
P4 人吉RC戦略委員会・60周年実行委員会
ココ・R財・米山・人吉奨学寄付カード

今年度は当クラブのバスター会長である片岡ガバナー補佐、水野ガバナー補佐幹事のもと第6グループの5つのクラブの会長幹事会が既に4回開催されており、親睦と交流が既に深まっております。これも当クラブの片岡ガバナー補佐のお人柄によるものも大きいのではないのでしょうか。

本日は、創立60周年記念行事実行委員長として、中川バスター会長よりお話を頂く事になっております。50周年の実行委員長は片岡ガバナー補佐でございました。その後、記念誌「50年史」を読み返しますと、非常に懐かしい会員のお顔や50周年の式典の様子など懐かしく思い出しました。50周年式典では598名の皆さんの登録があり、盛大な式典と祝宴会場はあゆの里を2つの会場に変更しての大懇親会となり、多くの参加されたロータリアンの皆様から絶賛の言葉があったと記録に書いてありました。私も会長となり、改めて当クラブのこれまでの歴史と誠実なるクラブ運営に心からの敬意を表し、60周年に向けて更なる友情と輪を大切に頑張っていければと思っております。

さて、今月は基本的教育と識学率向上月間です。今月のガバナー月信でも述べていらっしゃいますが、現在、世界の子ども約7,500万人、成人の7億7,600万人の人々は読み書きができないと言われております。これは成人の5人に1人の割合で、その内3分の2は女性だそうです。世界の識学率は国により大きな格差があり、日本のようにほぼ100%の国もあれば、マリは23%です。比較的にアフリカの国々は識学率が低く、南米やアジアの一部がそれに続くそうです。ポリオ撲滅が間近ということもあり、100周年を迎えたロータリー財団の、次のプログラムの1つとして資金提供がなされればいいなと個人的に思っております。

来週は恒例の5大親睦の1つ、月見例会が当ひまわり亭で開催されます。この時期にいつも思い出されるのが、先週お亡くなりになられた

点 鐘

本田 節 会長

歌 唱

ソングリーダー 大野啓介 SAA委員

国 歌 「君が代」

R S 「それでこそロータリー」

四つのテスト唱和

司会・進行 石蔵尚之助 プログラム委員長

会長の時間

会長 本田 節

いよいよ明日、国際ロータリー第2720地区2016-2017年度第6グループIMが開催されます。記念講演として前田眞実ガバナーが「ロータリーと共に」という演題で、お話を頂くそうです。ガバナー公式訪問の話とはまた違った形でガバナーご自身の人生や企業戦略についてお話頂くようです。大変楽しみです。

さて、会報にも記載されておりましたし、皆様もご存じだと思いますが、IMというのはインターシティ・ミーティングの略で、グループ、分区単位でガバナー補佐が主催して開催される会で、テーマはロータリーの事、そして一般社会の事、その時の話題になっている事、考えなければならない問題点などをテーマとし、より知識を広めロータリー活動を活性化することと、各5グループ内の会員の親睦と友情を深める事も重要な目的として開催されております。多くの皆様のご参加を宜しく願いいたします。

当クラブに15年在籍されておりました故山本瑤子様の月見例会でのふるまいが思い出されま
す。茶道をこよなく愛し、お弟子さんと共に修
行し研鑽を積まれ、茶道の世界もロータリー活
動も人生道として同じであるとよくおっしゃっ
ておられました。87年のご生涯に心から敬意を
表し皆様と共にご冥福をお祈りいたしたいと思
います。

本日最後に、大変嬉しい情報をお話して終わ
りたいと思います。私や中川パスト会長と人吉
高校で同級生であった、国立がん研究センター
先端医療開発センター新薬開発分野長の松村保
広氏がアメリカ情報会社トムソン・ロイターが
独自予想したノーベル賞有力候補者として選ん
だと発表があり、今後ノーベル賞受賞という期
待が高まりました。松村氏のコメントにEPR効果
(高分子のがん治療薬などを患部に集中させ
る)を活かした薬を是が非でも実用化して、世
の中の役に立ちたいと話していて、大変誇りに
思います。必ずやノーベル賞受賞を確信してお
ります。

本日はこれで会長の時間を終わります。

幹事報告

(代理) 副幹事 石蔵尚之

【連絡事項】

- ・人吉商工会議所より創立70周年記念第9回人吉オープンゴルフ大会の協賛依頼
- ・青井阿蘇神社例大祭の奉賛金協賛依頼並びに青井阿蘇神社例大祭10月8日の献幣式のご案内
- ・肥後銀行人吉支店長宮崎智弘様が9/21日浅野R情報委員長からのオリエンテーション終了次週30日入会式を行います。
- ・明日24日は熊本第6グループIMがこの会場で開かれます。出席者の皆様はジャケットとネクタイの着用をお願いします。なお翌日の25日は午前8時より球磨カントリークラブで5クラブ対抗の親睦ゴルフ大会が開かれます。
- ・2017～2018年度国際ロータリー第2720地区より第1回次期ガバナー補佐研修会の案内中川会員にお渡しします。
- ・熊本東RC例会変更(掲示版)
- ・玉名中央RC週報(回覧)ガバナー月信配布
- ・次週30日は月見例会です。午後6時半から場所はひまわり亭です。

出席率報告

委員長 内藤靖雄

会 員 数	63名	本日の出席率	
出 席 免 除	5名	72.41%	
欠 席 者 数	16名	9 / 9 出席率	70.69%
出 席 者 数	42名	補 填 数	1名
免除会員出席者数	0名	修 正 出 席 率	72.41%

*届け出欠席

岩下・浅野・堤正・戸高・竹長・葉山・川越・中村・大賀
田上・堀川・尾上・伊久美・大久保・小林清・有村

*出席免除会員(b) 増田, 愛甲, 釜田, 岩本, 齊藤

*メイクアップ; 人吉中央RC 延岡

～人吉温泉観光協会より～

人吉・球磨観光カレンダー協力依頼
注文チラシの配布

Paul Harris Fellow



認証ピン贈呈
北 昌二郎 会員

【永田壮一ガバナーエレクトより】

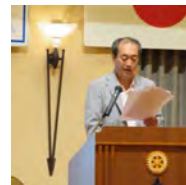
国際ロータリー第2720地区2017-2018年度
地区出向者委嘱状伝達式

地区研修委員会 副委員長 中川貴夫会員



【雑誌委員会】

(ロータリーの友月間) 9月号紹介



紹介者 塚本哲也委員長
今月は「ロータリーの友月間」
となっていますので9月号紹介の
前に「ロータリーの友」について
のお話をさせていただきます。

日本の公式機関誌「ロータリー
の友」は1953年(昭和28年)1月に創刊されま
した。当初の発行部数は3300部でしたが徐々に
増えて、1997年には17万部とピークを迎えまし
た。その後減少し今年2016年の6月号は9万
5700部でした。この「ロータリーの友」は1980
年(昭和55年)にR I公式地域雑誌の認定を受
けました。因みに昨年度1年間の購読料は月平
均1862万円もあり、中には、読まれざるベスト
セラーと揶揄する人もいるそうです。創刊号の
価格は50円でしたが、原価が約94円もかかり最
初から予算不足は明らかで広告を取って何とか
不足分を補っていたそうです。その後1954年
には100円、1963年から110円、1975年1月号から
現在に至るまでの40年間本体価格は200円のまま据
え置かれています。ただ会員数の減少により発行部
数も減少し、出版費や人件費の削減するなど、徹
底的な合理化を図っているそうです。

お気づきの方もいらっしゃると思いますが、当初サイズはA 5サイズでしたが、創刊50周年を迎えた2003年からA 4変形版に変更し、更に今年の7月号から正式のA 4サイズになりました。また2013年の規定審議会で、ロータリー地域雑誌に関して、会員は印刷媒体か電子媒体のいずれかを選択して購読できるようになりました。それを受けてロータリーの友事務所では、電子版の『友』を2014年1月号から発行しています。

皆さんご存知の通りロータリアンの三大義務は、例会の出席、会費の納入、とそしてロータリーの雑誌の購読であります。毎月手元に届く「ロータリーの友」は最も効率よくロータリー情報を得ることができ、世界中、日本中の会員の意見や活動と知ることができる雑誌だと思えます。この月間に是非「ロータリーも友」を開いて、人吉ロータリーの実際の活動に生かして頂ければと思います。

それではロータリーの友9月号の紹介をさせていただきます。横組みの方をを開いて3ページのRI会長メッセージが「無敵の組み合わせ」という見出しで始まっています。1917年夏、アメリカが第1次世界大戦に参戦してからわずか数か月後、ロータリーはアトランタで第8回年次大会を開きました。ロータリアンの多くは中止されるべきだと考えましたが、理事会はポールハリスの予定通りに開催するという案に同意し開催しました。ハリスは歓迎の辞で、「個人の努力が十分に向けられた時、多くを成し遂げることができますが、最大の善は、多くの人の努力が終結することから実現するものです。個人の努力は個人のニーズに向けることができます。しかし、大勢の努力の結集は、人類への奉仕にささげられるに違いありません。結集された努力に限界はありません。」という言葉を残しています。

当時の会長、アーチC. クランプ氏が「世界で良いことをする」ためにロータリーの基金の設立を提案したのも、まさにこの大会でした。ロータリークラブから、世界を変える力を持つ「よいこと」をする国際的な組織へと発展させたのはロータリー財団でした。今年度、財団生誕の地、アトランタでロータリー財団100周年の祝賀が行われます。第108回国際ロータリー年次大会は、これまでで最もエキサイティングな大会のひとつとなることをお約束いたします。

この2017年アトランタ国際大会は絶対に見逃すことのできない大会です。今登録すれば割引が提案されます。アトランタでお会いしましょうと締めくくられています。

次に10ページです。お気づきですか？『ロータリーの友』が少し変わりました。という見出しでロータリーの友の変更点が詳しく紹介され

ています。13ページから25ページまではロータリー財団100周年の記事が書かれています。その中で14ページから23ページまで「サザンカンフォート（南部の癒し）」という題でアトランタの話題が掲載されています。「コココーラよりペプシが好き」と漏らした筆者は母に「裏切り者」とののしられました。とあります。アトランタでコココーラと言えは「風と共に去りぬ」のレッドバターに迫る人気だそうです。また記事の中でアトランタのおすすめレストランやそのほかたくさん名所が楽しく紹介されています。最後にはここでも、今すぐアトランタ国際大会に登録すると150ドルお得になりますとの早期登録の宣伝も目立つように書かれています。

続いて右側の縦組みの紹介です。4ページに「社会になじむことが難しい若者支援」という題で秋田大学の柴田教授の記事を紹介します。現在「にーと」や「引きこもり」と言われる人がたくさんいます。仕事や学校に行かず、かつ、家族以外の人との交流を一切せずに、6ヶ月以上続けて自宅にいる状態が「引きこもり」の定義だそうです。また「ニート」とは、15歳から34歳までの非労働力人口のうち、通学しておらず、家事を行っていない若年無業者のことを「ニート」というそうです。

「言説」という言葉がありこれは社会学や哲学で使われる言葉だそうですが先ほどの「引きこもり」、「ニート」あるいは「団塊の世代」、昔よく使われた「新人類」今では「ゆとり」や「ゆとり世代」などがそれで、その言葉が前提となりある一定の方向に導くという機能を引き起こしています。例えば今の大学生以上の人があるかできなければ「ゆとりだもんね」と揶揄されるようなことが起こってしまいます。というようなことが書かれています。

最後の方には、東日本大震災に遭い、秋田県の転校してきた子供たちに対しスクールカウンセラーが訪問して子供たちのトラウマに対応しようと考えました。でも多くの子供たちは立派にきちんと力強く生活していました。その子供たちがちゃんと生活しているのをカウンセラーが見て逆にそのカウンセラーの方たちが不安になってしまったそうです。それは不安を表面に出せていない子供たちだと思ってしまったのです。それで絵を描かせたりしたそうです。するとカウンセラーの方が「樹の下に影がありますね」と言い、これは抑うつ的な兆候がいたり不安があるとかという診断が下されていたそうです。樹を描いたらふつうその下に影を描くのは当たり前で、子供でも大人でもそうします。そんなばかばかしいことが震災後は起きていたそうです。そして子供たちがちゃんと生活できているのは教育がしっかりしているからだと言

明して先生たちが行ってきた「良いこと」を説明していったそうです。少し難しい話ですが興味深い記事ですので是非御読み下さい。

次に14ページです。「みんなで造った純米大吟醸 日本コバ」という見出しで記事が載っています。酒好きの会員7人が酒を酌み交わしながら、「もっとこの輪を広げよう、お酒も自分たちで造ろう」という事になり話はトントン拍子で進み会員32人で会を発足したそうです。そのメンバーで色々な方からご教授されながらまた楽しみながら純米大吟醸の酒造りをされたそうです。

まだまだ興味をひかれる記事がたくさん掲載されていますのでご覧いただきたいと思います。ご清聴ありがとうございます。

【人吉RC戦略計画委員会】 委員長 井手富浩

人吉RC戦略計画当委員会は国際ロータリー、ロータリー戦略計画の4つの優先事項に基づき、クラブの中、長期計画も踏まえた方針、計画で活動致しておりますが、本年度は特別に「60周年事業に向けてのサポート」、「IM事業成功に向けてのサポート」があります。具体的には、両事業の実行委員会が正式に立ち上がるまでの繋ぎの役目を担います。明日のIM事業に関しましては、片岡ガバナー補佐、水野補佐幹事の元、実行委員会で、役割分担、計画、実行となります。宜しく御願ひ致します。

さて、これから60周年中川実行委員長より来年5月20日の「人吉RC60周年」事業へ向かっての抱負、役割分担等を御話し頂きますが、本日は、事業成功への実行委員会の発足式となります。今後具体的な計画等 会合を重ねながら詰めてまいります、クラブの会員の皆様一人一人の英知と御協力が必要となります。皆様宜しく御願ひ申し上げます。

【60周年実行委員会】 実行委員長 中川貴夫 60周年に向けて

こんにちは、来年、平成29年5月20日（土）に開催いたします人吉ロータリー創立60周年に向けて委員会組織を作りました。それぞれ、委員長、副委員長をこちらで決めさせて戴きましたので皆様の絶大なるご協力を戴きますように宜しく御願ひ致します。

まず、50周年事業を10年前に致しましたが、その時片岡パスト会長が作られました委員会になって組織も作りました。また、退会、入会がありました。50周年では、登録数529名、宴会実数511名でありました。今回は60周年記念事業ですので、50周年事業に比べれば少ないと思います。前と変わらぬ体制で行いたいと思います。

まず、各クラブへのご案内を行わなければなりません。64名全員で振り分けし行いたいと思いますが、どうしても出来ない方もいらっしゃると思いますので新会員の皆様は他クラブ訪問、メイキャップの意味からも必ず1回はご協力戴きたいと思ひます。誰かするだろうではなく人吉RC会員全員の協力で行いたいと思ひますので宜しく御願ひ致します。

式典会場は、カルチャーパレス、大ホール・小ホールを19日（金）、20日（土）と抑えてあります。19日はリハーサル例会にしたいと思ひます。

懇親会は、当ホテルあゆの里さんで行い、現在2階・4階と抑えてあります。お客様が多ければ、大変申し訳ありませんが、第6グループは4階にて開催、他クラブ・来賓のお客様を2階で開催したいと思ひています。

それぞれの委員会で役割分担を決めて戴き進めて行きたいと思ひます。総務委員会委員会・片岡委員長、会場委員会・和田委員長、式典委員会・鳥井委員長、祝宴委員会・浅野委員長、記念事業委員会・伊久美委員長、記念誌・記録委員会・堤脩委員長で委員会を開いていただきながら進めて行きます。宜しく御願ひ致します。また、その時式典司会は、石蔵尚之副幹事、ソングリーダーは、下田SAA委員長に御願ひ致します。

最後に、もう一度、創立60周年に向けて協力宜しく御願ひ致します。

米山学友ブ・ゴク・チェン君近況

片岡啓一会員

先日突然チェン君からメールが入りました。「片岡さんお元気ですか？今ハノイにいます。12月17日に結婚します。相手はベトナムの人です。お世話になった方を招待したいです。」と書いてありました。折り返し電話をしたのですが繋がらないので、詳しいことが分かりましたらお知らせします。以上です。

【寄付カード】 ニコニコ箱副委員長 高山征治 <ニコニコ箱委員会>

・水野会員 明日の熊本第6グループIMのご参加ありがとうございます。主催片岡ガバナー補佐、ホストクラブは我が人吉RCです。大会が成功します様祈っております。

<R財団委員会>

・高山会員 何事もないことに感謝します。

<米山記念奨学委員会>

・平田会員 毎回例会毎の米山奨学基金を寄付します。

点 鐘 本 田 節 会 長